

## 1. 教育・保育提供区域について

### 教育・保育提供区域とは

子ども・子育て支援法第61条第2項において、市町村は、地理的条件、人口、交通事情、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、小学校区、中学校区、行政区等、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域を、教育・保育提供区域（以下「提供区域」という。）として設定しなければならないとされているものです。

### 教育・保育提供区域の設定の視点

- ①提供区域は、教育・保育事業の需給調整単位として運用するものであり、区域内で各認定区分に対応した教育・保育事業を確保することが求められます。
- ②教育・保育事業は、提供区域内での利用が基本となりますが、区域外での事業利用を妨げるものではありません。
- ③教育・保育事業の供給量が需要量を下回る区域において、新規参入の希望があった場合は、原則として認可しなければならないこととされています。
- ④地域子ども・子育て支援事業（放課後児童クラブ等）については、利用実態等に応じて、事業ごとに異なる提供区域を設定することも可能とされています。

**“提供区域ごと”に教育・保育ニーズ等を把握した場合、その需要に対して“提供区域ごと”に提供方策を検討・確保しなければならない。**

## 2. 藤井寺市の地域特性を踏まえた区域設定の考え・まとめ

### 区域設定の視点

- 区域内の教育・保育需要を区域内で確保しなければならない。
- 教育・保育事業の供給量が需要量を下回る区域において、新規参入の希望があった場合は、原則として認可しなければいけない。
- ⇒区域が広いと、多様な事業者の参入を受け入れることができ、柔軟な供給体制を確保することができる。
- ⇒区域が狭いと、利用者にとって身近な利用が確保されるものの、区域ごとの人口増減に対して対応が難しい。

### 藤井寺市の教育・保育に関する地域特性

- 市域面積は、大阪府下の市において最も狭く、比較的移動がしやすい、コンパクトなまちである。
- 小学校区ごとに幼保が整備されている一方で、藤南小と藤西小の統合方針が出されている。
- 地域間で人口が異なっている。コンパクトなまちの特性から、就学前施設については、区域(小学校区や旧町など)を横断しながら利用している状況がある。
- 市介護保険事業計画では、日常生活圏域として1圏域設定しており、市として統一的なサービス提供を図っている。

藤井寺市の教育・保育に関する地域特性を踏まえると、

藤井寺市のコンパクトなまちであることや、それに伴い、区域(小学校区など)横断的な保育サービス利用がある。

日常生活圏域を1つと設定しており、現在の藤井寺市の福祉関連の区域設定では、全市域を1区域と捉えた統一的なサービス提供を図っている。

以上から、藤井寺市にとっては市全域を教育・保育提供区域として捉え、教育・保育事業の柔軟な供給体制を確保することが考えられる。

## 教育・保育提供区域について

### 3. 教育・保育事業及び地域子育て支援事業の提供区域

	教育・保育提供区域	備考
<b>教育・保育事業</b> 〈該当事業〉 ①幼稚園、②保育所、③認定こども園	<b>全市</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校区、中学校区、旧町など、市内にはさまざまな区域にわけることができるが、現在の教育・保育事業(私立幼稚園・保育所など)においては、それら区域を横断的に利用している状況である。</li> <li>○上記の背景としては、市域の狭さ(大阪府下の市で一番)が関係し、比較的区域を横断して移動しやすい環境にある。</li> <li>○市介護保険事業計画における日常生活圏域は1圏域としており、市の福祉関連においては、市全域を1圏域と捉えた統一的なサービス提供を図っている。</li> </ul>
<b>地域子育て支援事業</b> 〈該当事業〉 ①時間外保育事業、②放課後児童健全育成事業、③子育て短期支援事業(ショートステイ)、④地域子育て支援拠点事業、⑤一時預かり事業、⑥病児保育事業、⑦子育て援助活動支援事業、⑧利用者支援、⑨妊婦に対する健康診査、⑩乳児家庭全戸訪問事業、⑪養育支援訪問事業など	<b>全市</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域子ども・子育て支援事業においては、市全域を対象として設定及び利用されているものがほとんどである。</li> </ul>

## 教育・保育提供区域について

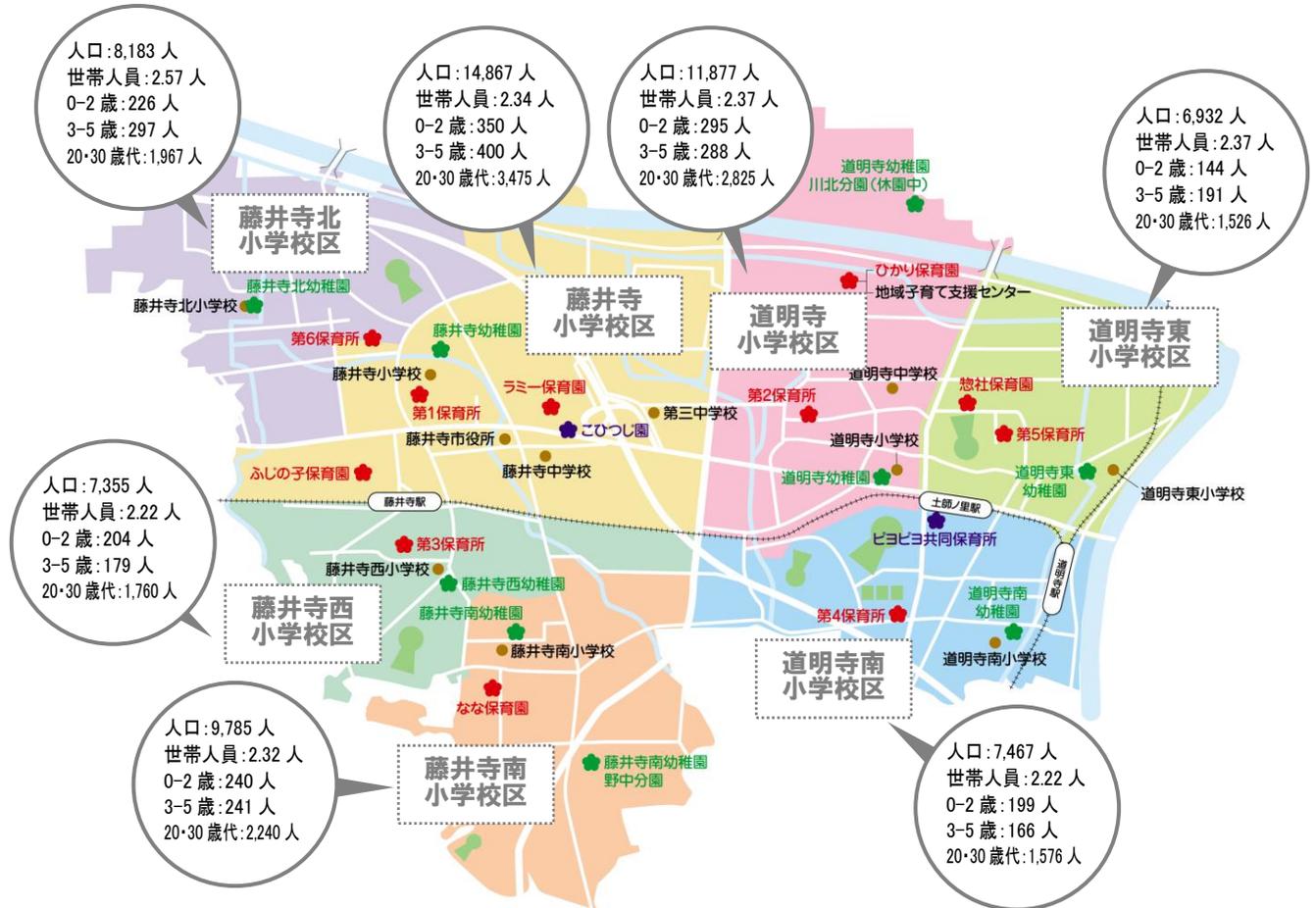
### (参考) 藤井寺市の小学校区と施設配置

○藤井寺市の市域は8.89km<sup>2</sup>となっており、大阪府下の市において一番狭く、コンパクトなまちです。

○7つ公立幼稚園と1つの私立幼稚園、6つの公立保育所と5つの私立保育園があります。

○市全体の人口は横ばいですが、さくら町や春日丘などの人口増加地区もみられます。

■ 藤井寺市の小学校区と施設配置



平成 25 年 3 月末時点